

たまねぎ

(1) 耕種的防除法等

病虫害名	防除適期	防 除 方 法
べ と 病	植付前 生育中	○ 連作をしない。 ○ 発病畑では、3～4年間他作物の輪作を行う。 ○ 排水、風通しのよい畑地を選ぶ。 ○ 散布する薬剤には展着剤を加用する。 ○ 年内と春先には場をていねいに見てまわり、罹病株の除去を徹底する。
黒 斑 病	生育中	○ 連作をさける。
さ び 病	植付前	○ 堆肥、石灰を適正量施用する。
黒腐菌核病	植付前 定植時	○ 連作をしない。 ○ 発病畑では、4～5年間他作物の輪作を行う。 ○ 無病苗を選んで定植する。
腐 敗 病	生育中 収穫前 収穫後	○ 多肥をさける。 ○ 排水を良くする。 ○ 雨天の日に収穫すると発病が多くなるので、晴天の日を選んで収穫する。 ○ たまねぎに傷を付けない。 ○ 貯蔵場所は、低温、乾燥した場所を選ぶ。 ○ 夏期の直射日光に当たる場所には貯蔵しない。
軟 腐 病	収穫前 収穫後	○ 雨天の日に収穫すると発病が多くなるので、晴天の日を選んで収穫する。 ○ たまねぎに傷を付けない。 ○ 貯蔵場所は、低温、乾燥した場所を選ぶ。 ○ 夏期の直射日光に当たる場所には貯蔵しない。